

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 旭有機材工業株式会社

コード番号 4216 URL <http://www.asahi-yukizai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐次 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長

(氏名) 岡本 忠久

TEL 03-3256-2451

四半期報告書提出予定日 平成20年11月12日

配当支払開始予定日

平成20年12月8日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	19,117	—	437	—	887	—	△250	—
20年3月期第2四半期	18,945	△2.2	1,192	△24.7	1,282	△33.9	787	△27.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	△2.56	—
20年3月期第2四半期	8.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第2四半期	58,899	—	44,083	—	74.8	450.65
20年3月期	59,881	—	44,972	—	75.0	459.67

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 44,040百万円 20年3月期 44,927百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	2.4	1,600	△23.0	2,400	4.9	600	△56.2	6.14

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社(社名 旭有機材樹脂(南通)有限公司) 除外 1社(社名)
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 99,002,000株 20年3月期 99,002,000株
② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 1,275,321株 20年3月期 1,263,529株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 97,732,237株 20年3月期第2四半期 97,750,621株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しておりますが、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、原油価格の高騰および米国のサブプライムローン問題に端を発した国際金融の大混乱を契機として、実体経済の減速が鮮明になってまいりました。国内においても米国向け輸出の鈍化や円高、原材料高などの影響により設備投資意欲が低下し、個人消費が冷え込み、景気の先行きに一層不透明感が増してまいりました。

このような環境の下で当社グループは、設備の改善や工程短縮・省力化によるコスト削減や、原材料価格の高騰に対応した製品価格の修正等に取り組みましたが製品値上げの浸透が遅れ、コストの上昇を吸収しきれませんでした。また、世界的な証券市場の大混乱により、特別損失に投資有価証券評価損を計上することとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,117百万円、営業利益は437百万円、経常利益は887百万円、四半期純損失は250百万円となりました。

事業部門別の状況は、次のとおりであります。

管システム事業部門

主力製品である配管材料は、期の前半において原油価格がさらに高騰したことから、企業収益悪化の兆候が現れ、設備投資の先送りが多くみられたため、売上は伸び悩みました。利益面におきましては、積極的にコストダウンに取り組んだものの、主原料の二度にわたる値上がりや、金属・ゴム等材料の高騰に対する製品価格の転嫁が需要の冷え込みに対する販売競争の激化により大幅に遅れたことなどにより利益を圧迫することとなりました。

これらの結果、当事業部門の売上高は12,569百万円、営業利益は370百万円となりました。

樹脂事業部門

主力製品である鋳物用樹脂及びRCSは、輸出の減速による自動車生産のかげりや、景気の後退感が見えはじめましたが、中国関係の販売が好調だったことやRCS関連製品の販売が堅調だったこと及び製品価格の改定により売上は伸びました。利益面におきましては、主原料を中心とした原料価格の相次ぐ値上がりに、さらなる販売価格の修正が追いつかず、利益は伸びませんでした。

これらの結果、当事業部門の売上高は6,548百万円、営業利益は67百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は58,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ982百万円減少しました。これは設備投資に伴う有形固定資産の増加するなか、有価証券の償還や受取手形及び売掛金の回収などによる流動資産が減少したことによるものです。

負債は14,816百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円減少しました。これは当座借越による短期借入金の増加がありましたが、支払手形及び買掛金などの減少が上回ったことによるものです。

純資産は44,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ889百万円減少しました。これは四半期純損失や配当による株主資本の減少と為替換算調整勘定の減少などによる評価換算差額等の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年10月16日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

第1四半期連結会計期間から、重要性が増した旭有機材樹脂(南通)有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

1 一般債権の貸倒見積高の算定方法

前連結会計年度末に算定した貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

3 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

4 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これによる損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,156	2,449
受取手形及び売掛金	15,295	16,794
有価証券	152	1,274
たな卸資産	7,339	6,815
その他	1,301	1,026
貸倒引当金	61	79
流動資産合計	27,182	28,279
固定資産		
有形固定資産	15,218	14,108
無形固定資産	578	645
投資その他の資産		
投資有価証券	12,918	12,902
その他	3,082	4,015
貸倒引当金	79	67
投資その他の資産合計	15,921	16,850
固定資産合計	31,717	31,602
資産合計	58,899	59,881
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,305	9,064
短期借入金	1,027	27
その他	2,494	2,818
流動負債合計	11,825	11,908
固定負債		
長期借入金	155	195
退職給付引当金	1,389	1,369
役員退職慰労引当金	207	247
その他	1,241	1,190
固定負債合計	2,991	3,001
負債合計	14,816	14,909
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,480	8,480
利益剰余金	31,197	31,936
自己株式	544	541
株主資本合計	44,133	44,876
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	182	166
為替換算調整勘定	89	218
評価・換算差額等合計	93	51
少数株主持分	43	45
純資産合計	44,083	44,972
負債純資産合計	58,899	59,881

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	19,117
売上原価	13,477
売上総利益	5,640
販売費及び一般管理費	5,203
営業利益	437
営業外収益	
受取利息	98
受取配当金	268
持分法による投資利益	16
その他	98
営業外収益合計	480
営業外費用	
支払利息	16
為替差損	8
その他	7
営業外費用合計	30
経常利益	887
特別利益	
貸倒引当金戻入額	17
その他	6
特別利益合計	23
特別損失	
固定資産除売却損	11
投資有価証券評価損	1,312
その他	0
特別損失合計	1,323
税金等調整前四半期純損失()	413
法人税等	161
少数株主損失()	2
四半期純損失()	250

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	管材システム事業(百万円)	樹脂事業(百万円)	計(百万円)	消去又は全社(百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,569	6,548	19,117		19,117
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	12,569	6,548	19,117		19,117
営業利益	370	67	437		437

(注) 1 事業区分の方法

製品の種類、性質、製造方法、販売方法等類似性、損益集計区分及び関連資産等に照らし、事業区分を行なっております。

2 各事業の主要製品

事業区分	主要製品
管材システム事業	プラスチック製バルブ、パイプ、継手、フランジ、ガスケット、汚泥改質機構、電気透析脱塩装置、配管工事等のエンジニアリング、半導体関連機器の治工具洗浄装置等
樹脂事業	フェノール樹脂(鋳物用、発泡用、建材用、電子材料用、一般工業用等)、レジンコーテッドサンド、フェノール樹脂成形材料、ジアリルフタレート樹脂成形材料等

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本(百万円)	米国(百万円)	中国(百万円)	計(百万円)	消去又は全社(百万円)	連結(百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	17,079	1,894	145	19,117		19,117
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	731			731	(731)	
計	17,809	1,894	145	19,848	(731)	19,117
営業利益又は営業損失()	337	117	7	447	(10)	437

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	1,728	787	2,514
連結売上高(百万円)			19,117
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.0	4.1	13.2

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本国以外の区分に属する主な国又は地域
 (1)北米・・・・・・・・米国、カナダ
 (2)その他の地域・・・上記以外の欧州、中南米、アジア等の地域

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。

「参考」

前中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)		百分比 (%)
	金額(百万円)		
売上高		18,945	100.0
売上原価		12,763	67.4
売上総利益		6,182	32.6
販売費及び一般管理費		4,990	26.3
営業利益		1,192	6.3
営業外収益			
1 受取利息	150		
2 受取配当金	177		
3 為替差益	9		
4 仕入割引	10		
5 その他	43	389	2.1
営業外費用			
1 支払利息	6		
2 たな卸資産処分及び評価損	83		
3 クレーム対策関連費用	15		
4 有価証券評価損	146		
5 持分法による投資損失	29		
6 その他	20	299	1.6
経常利益		1,282	6.8
特別利益			
1 固定資産売却益	1		
2 投資有価証券売却益	91		
3 その他	4	96	0.5
特別損失			
1 固定資産売却及び除却損	5		
2 投資有価証券評価損	12		
3 その他	5	22	0.1
税金等調整前中間純利益		1,356	7.2
法人税、住民税及び事業税	404		
法人税等調整額	164	568	3.0
少数株主利益		1	0.0
中間純利益		787	4.2